

平成27年3月期の業績報告

平成27年3月期における紀陽フィナンシャルグループの営業概況ならびに紀陽銀行連結と単体の主な経営指標をお知らせいたします。

グループ営業概況

当行グループは、平成24年4月より第3次中期経営計画をスタートさせ、お客さまから選ばれ続ける銀行を目指す方針のもと、お客さまの利便性向上に努めるとともに、より充実した金融商品、金融サービスの提供に注力し、業績の向上と経営体質の強化に取り組んでまいりました。

これらの取り組みの結果、預金等や貸出金が順調に増加し、損益については前期に比べ債券関係損益が減少しましたが、与信コスト総額も減少したことにより、当初計画は上回ることができました。

連結経常利益は152億円、連結当期純利益は112億円となりました。

主要な経営指標 紀陽銀行連結

	(単位)	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
連結経常収益	百万円	84,384	81,574	84,963	76,346	74,275
連結経常利益	百万円	12,975	16,182	28,880	14,897	15,255
連結当期純利益	百万円	8,438	9,265	19,906	10,487	11,270
連結包括利益	百万円	11,584	21,539	29,532	9,461	35,883
連結純資産	百万円	150,078	168,239	177,766	182,905	215,269
連結総資産	百万円	3,761,867	3,847,061	3,921,351	4,058,599	4,277,830
1株あたり純資産	円	162.09	189.12	2,264.96	2,486.14	2,953.31
1株あたり当期純利益	円	11.56	12.85	291.06	150.23	156.55
連結自己資本比率(国内基準)	%	11.49	11.63	11.14	11.20	10.62

(注)平成24年度の1株あたり純資産額及び1株あたり当期純利益金額については、当行は、平成25年10月1日に株式会社紀陽ホールディングスを吸収合併しており、株式会社紀陽ホールディングス普通株式10株につき当行普通株式1株の割当てを行ったため、平成24年度の期首に当該割当てが行われたと仮定して算出し、遡及処理後の数値を記載しております。

主要な経営指標 紀陽銀行単体

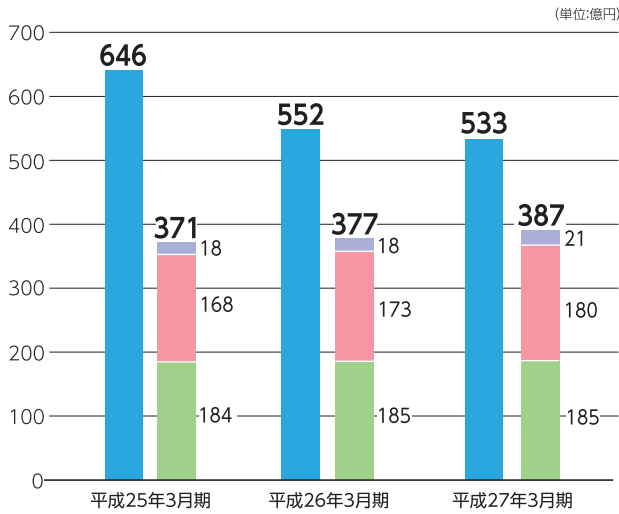
	(単位)	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
経常収益	百万円	79,496	76,311	79,627	68,381	66,134
経常利益	百万円	12,923	15,036	27,751	15,796	15,578
当期純利益	百万円	8,332	8,658	19,293	12,094	12,317
資本金	百万円	80,096	80,096	80,096	80,096	80,096
発行済株式総数	千株	669,595	669,595	669,595	73,399	73,399
第2回優先株式	千株	8,000	8,000	8,000	—	—
第二種優先株式	千株	31,500	31,500	16,100	—	—
純資産額	百万円	147,555	165,003	173,751	169,929	197,721
総資産額	百万円	3,761,486	3,846,921	3,920,308	4,050,317	4,261,339
預金残高	百万円	3,364,810	3,447,037	3,540,089	3,589,688	3,732,412
貸出金残高	百万円	2,505,135	2,546,202	2,582,839	2,607,943	2,668,105
有価証券残高	百万円	878,138	1,070,999	986,431	1,129,558	1,285,164
1株当たり純資産	円	160.33	186.44	2,228.72	2,345.88	2,751.47
1株当たり配当額 普通株式	円	4.00	4.00	4.00	30.00	35.00
第2回優先株式	円	20.00	20.00	20.00	—	—
第二種優先株式	円	17.00	16.00	16.00	—	—
単体自己資本比率(国内基準)	%	10.92	10.90	10.42	10.85	10.28
配当性向	%	35.05	33.50	14.18	17.31	20.45
従業員数	人	2,221	2,265	2,242	2,242	2,261

(注)第203期の1株あたり純資産額及び1株あたり当期純利益金額については、当行は、平成25年10月1日に株式会社紀陽ホールディングスを吸収合併しており、株式会社紀陽ホールディングス普通株式10株につき当行普通株式1株の割当てを行ったため、第203期の期首に当該割当てが行われたと仮定して算出し、遡及処理後の数値を記載しております。

業務粗利益・経費

紀陽銀行単体

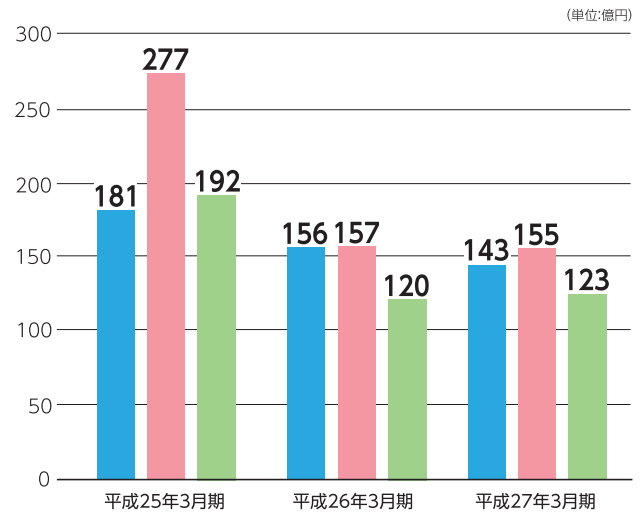
税金
物件費
業務粗利益
人件費



コア業務純益・経常利益・当期純利益

紀陽銀行単体

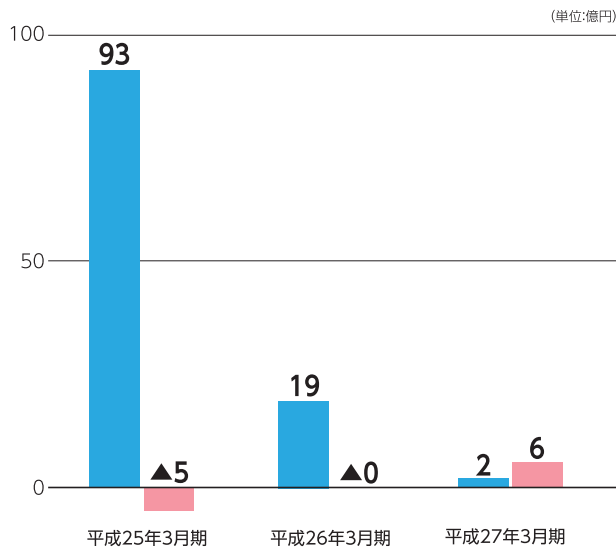
コア業務純益
経常利益
当期純利益



債券関係損益・株式等関係損益

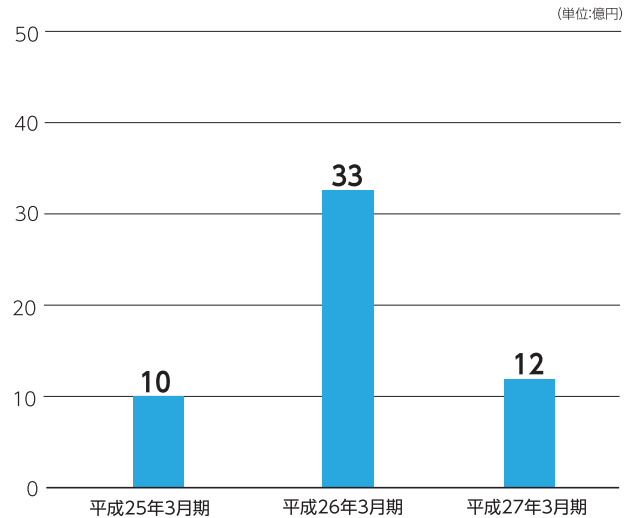
紀陽銀行単体

債券関係損益
株式等関係損益



与信コスト総額

紀陽銀行単体



紀陽銀行単体ベースの業務粗利益は、資金利益が減少し、債券関係損益を主因にその他業務利益が減少したことなどから、前期比19億円減少の533億円となりました。経費につきましては、店舗やシステム関連の投資を進めたため、前期比10億円増加の387億円となりました。これらの結果、コア業務純益は143億円、経常利益は155億円、当期純利益は123億円となりました。与信コスト総額につきましては、一般貸倒引当金繰入額の減少などにより、前期比21億円減少の12億円となりました。